

Ⅲ. 調査結果の概要

1. 都市生活者の生活全般における意識・実態

(1) 現在の生活満足度

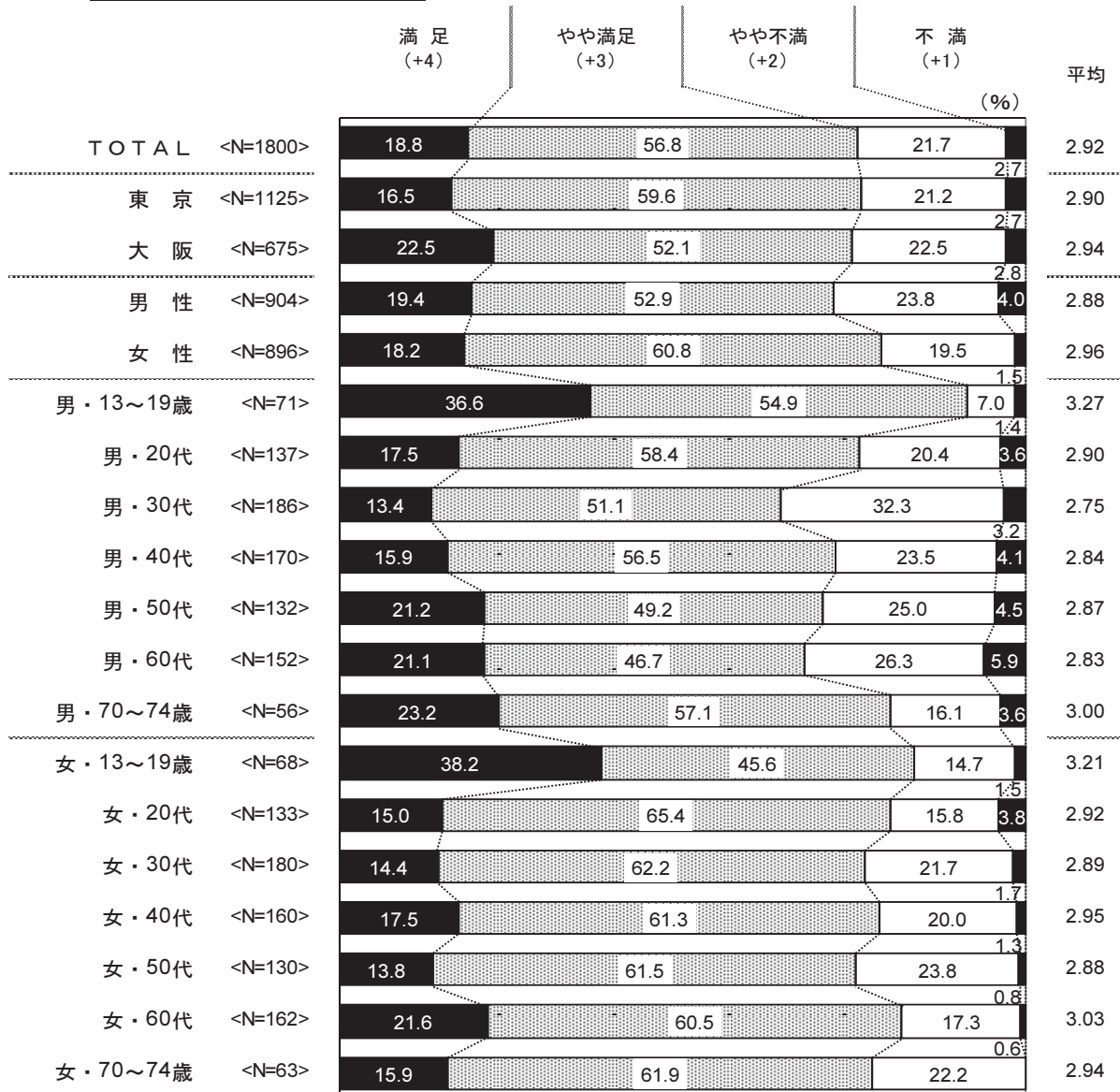
TOTAL でみると、“満足（満足+やや満足）”と76%が回答。

“満足（満足+やや満足）”は、東京・大阪間に有意差はみられないものの、男女間には有意差がみられ、女性が男性を7ポイント上回っている。

性・年齢別にみて満足度が相対的に高いのは男女とも満13～19歳で、男性92%、女性84%が“満足（満足+やや満足）”と回答。

反対に、満足度が相対的に低いのは男性30代・60代で、“満足（満足+やや満足）”はそれぞれ60%台。

図Ⅲ-1-1. 現在の生活満足度



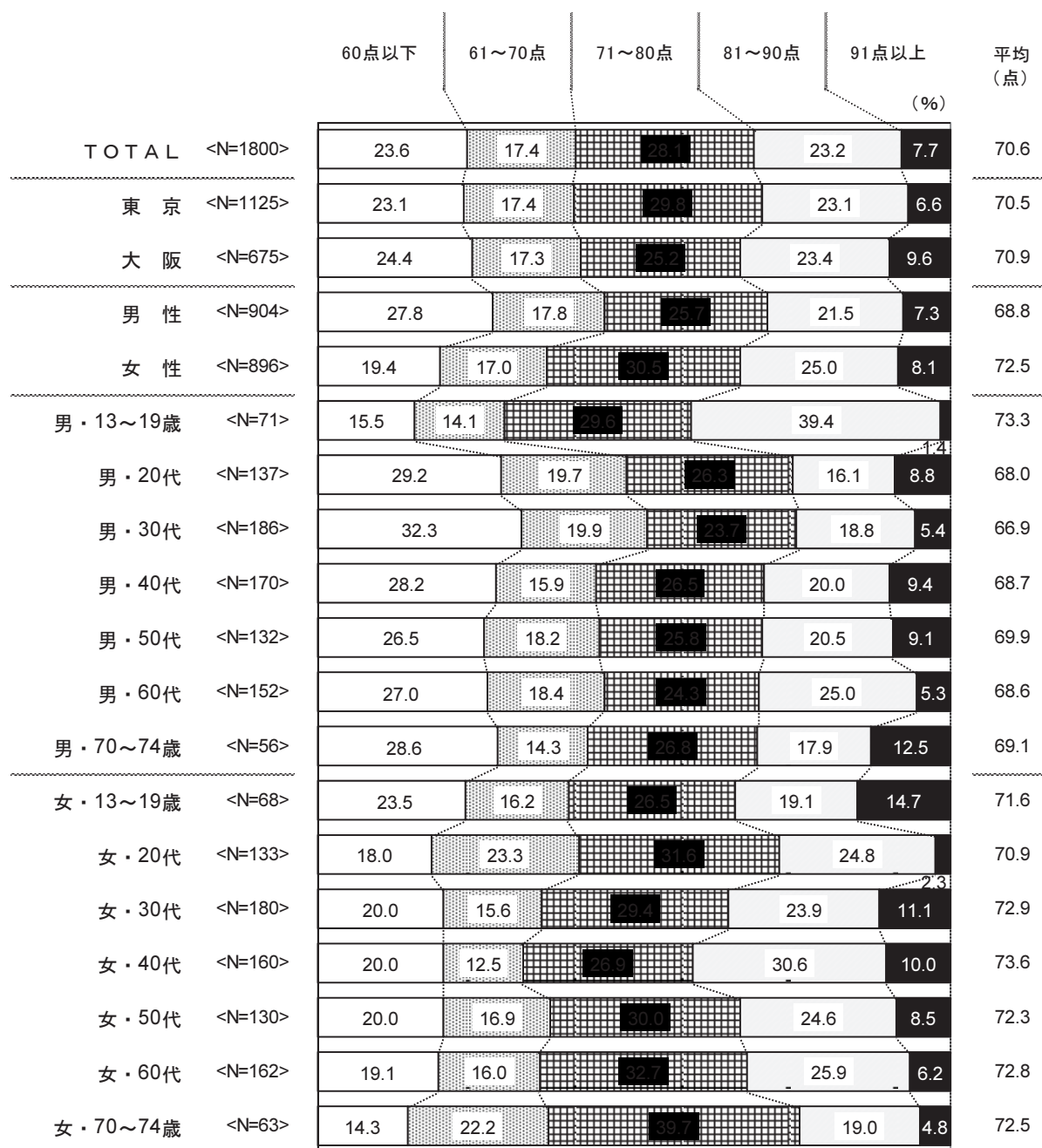
(2) 幸せ感・幸福感

理想と考える幸せ感・幸福感を 100 点満点とした現在の幸せ感・幸福感をみると、TOTAL の平均は 70.6 点。

東京・大阪間では平均点にほとんど差はみられないが、男女間でみると平均点は男性より女性のほうが高く、その差 4 ポイント。

性・年齢別の平均点をみると、男性の満 13～19 歳と女性の全年齢で 70 点以上であるのに対し、男性 20 代以上では 60 点台にとどまっている。

図Ⅲ-1-2. 幸せ感・幸福感



(3) 現在の生活水準

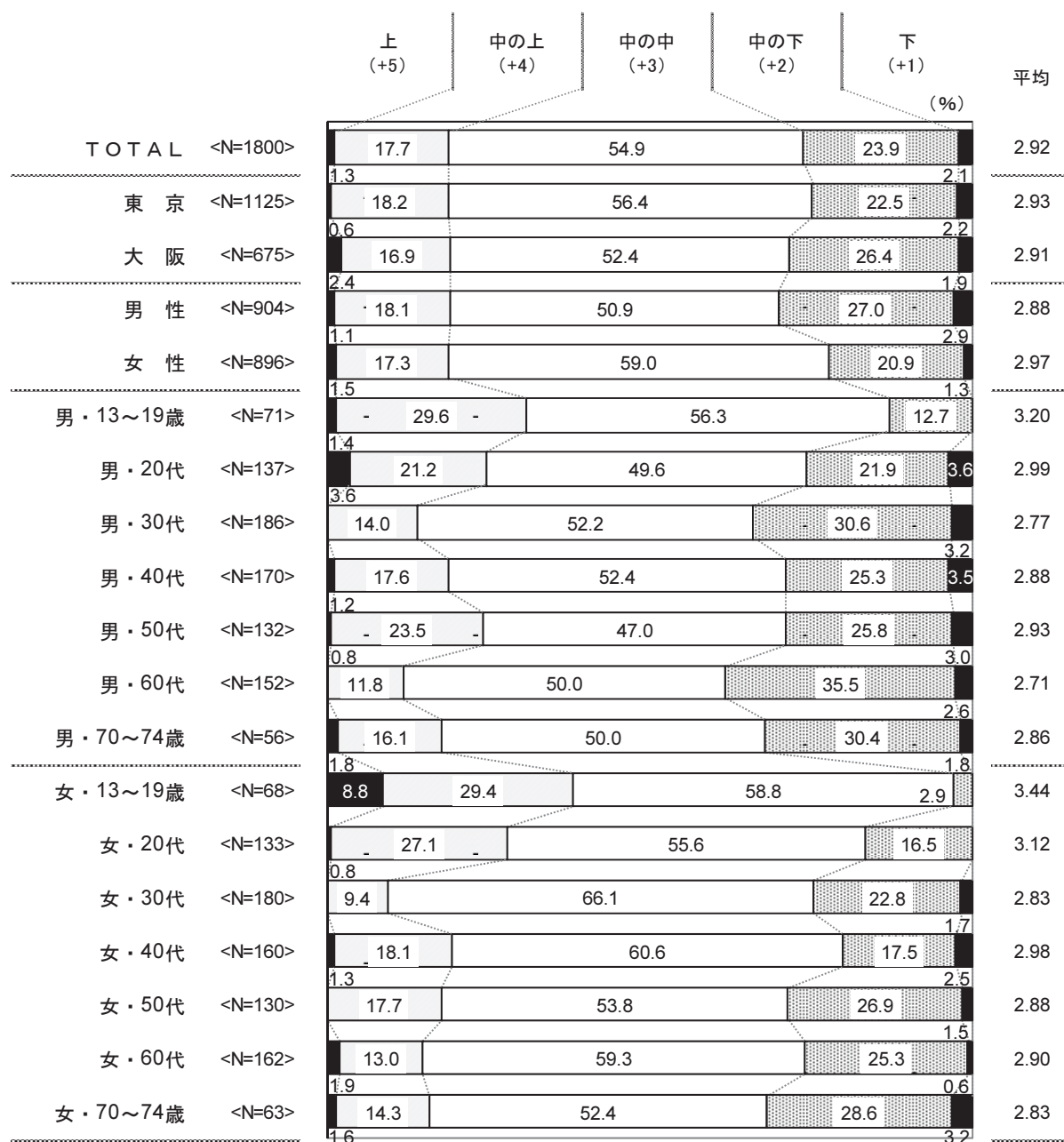
TOTAL でみると「中の中」が 55%と半数以上を占めている。「上（上+中の上）」は 19%、「下（中の下+下）」は 26%。

東京・大阪間に有意差はみられないが、男女間の「下（中の下+下）」に有意差がみられ、女性より男性のほうが 8 ポイント高い。

性・年齢別にみて、「上（上+中の上）」が相対的に高いのは男女とも満 13～19 歳で、男性 31%、女性 38%が「上（上+中の上）」を回答。

反対に「下（中の下+下）」の回答が相対的に高いのは男性 60 代と女性満 70～74 歳で、男性 60 代の 38%、女性満 70～74 歳の 32%が「下（中の下+下）」を回答。

図Ⅲ-1-3. 現在の生活水準



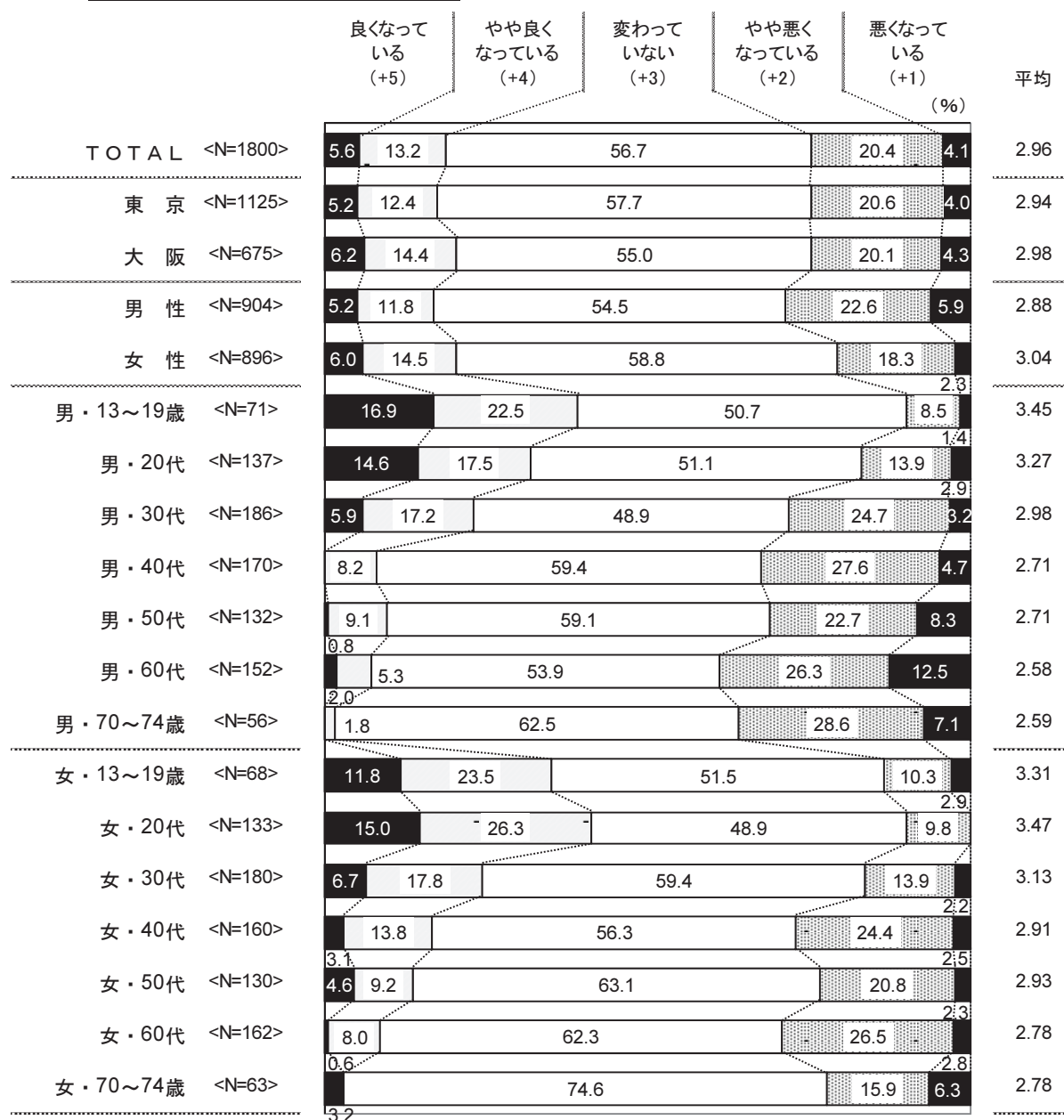
(4) 1年前と比較しての生活

TOTAL でみると、1年前と比較して現在の生活は“変わっていない”と半数以上の57%が回答。“良くなっている(良くなっている+やや良くなっている)”は19%、“悪くなっている(やや悪くなっている+悪くなっている)”は25%で、“悪くなっている”が“良くなっている”を6ポイント上回っている。

東京・大阪間には“良くなっている”“悪くなっている”とも有意差はみられないが、男女間には“悪くなっている”で有意差がみられ、女性より男性のほうが高い。

性・年齢別にみると、男性30代以上、女性40代以上で“悪くなっている”が“良くなっている”を上回っており、特に男性60代・満70~74歳では“悪くなっている”が“良くなっている”をそれぞれ30ポイント以上上回っている。

図Ⅲ-1-4. 1年前と比較しての生活



(5) 2～3年後の生活

TOTAL でみると、“良くなっていると思う（良くなっていると思う+やや良くなっていると思う）” 28%、“悪くなっていると思う（やや悪くなっていると思う+悪くなっていると思う）” 26%で、“変わらないと思う” が 47%でほぼ半数。

男女間の“悪くなっていると思う”に有意差がみられ、女性より男性のほうが5ポイント高い。

性・年齢別にみると、“良くなっていると思う”が“悪くなっていると思う”を上回っているのは男女とも30代以下で、男性40代以上、女性50代以上では“悪くなっていると思う”が“良くなっていると思う”を上回っている。

図Ⅲ-1-5. 2～3年後の生活

